

« 今日の主なニュース »

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆25年10～12月GDP、実質1.48%増に上方修正 民間予測

・日本経済研究センターがまとめた民間エコノミストの経済見通し「ESPフォーキャスト調査」によると、2025年10～12月期の実質国内総生産(GDP)の予測平均は前期比年率1.48%増。設備投資と輸出が1月の前回調査から上振れ、全体で0.34ポイント上方修正。個人消費の予測平均が前期比0.11%増、設備投資は0.55%増、輸出は0.27%増となった。

◆マイナ保険証の利用率、12月に6割超え 紙の保険証の期限切れ

・厚生労働省はマイナンバーカードと健康保険証を一体にした「マイナ保険証」の2025年12月の利用率が63.24%だったと明らかにした。12月に紙やプラスチックの従来の保険証が有効期限を迎える、前月から13.76ポイント上昇した。年齢階層別に見ると65～69歳が最も高く、75歳以上が最も低かった。

◆新秩父宮ラグビー場「SMBC Olive SQUARE」に 100億円で命名権

・東京・明治神宮外苑で2030年に新たに開業する秩父宮ラグビー場を巡り、鹿島や三井不動産などの整備・運営事業者は副名称を「SMBC Olive SQUARE(SMBCオリーブスクエア)」に決めたと発表。三井住友フィナンシャルグループとネーミングライツを含むトップパートナー契約を結んだ。三井住友FGは施設全体の活性化に関わる最上位スポンサー。

« 業界ニュース »

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆リンナイ4～12月、純利益275億円 ハイブリッド給湯器が好調で過去最高

・リンナイが発表した2025年4～12月期の連結決算は、純利益が前年同期比20%増の275億円。4～12月期として過去最高。国内で省エネ効果が高い給湯器への補助金が追い風となり、電気とガスを併用するハイブリッド給湯器の売り上げが好調。ガス式衣類乾燥機も容量の大きい「デラックスタイプ」を中心に伸びた。売上高は2%増の3393億円。

◆1月の建設業倒産、10.6%減 一方で相次ぐ大型倒産—TDB調査

・帝国データバンクが発表した「企業倒産集計(2026年1月報)」によると、1月の倒産件数は861件(前年同月比830件・3.7%増)で、2カ月連続で前年同月を上回った。依然として飲食店や建設業を中心とした小規模事業者の倒産が目立っている。建設業の倒産は152件で同18件(10.6%)減少。産業全体における構成比も17.7%、同2.8ポイント減少。

◆「熱帯化」で天井にカビ、背景にエアコン結露も 空調大手が対応策

・日本列島の「熱帯化」で、天井がカビやシミで黒くなる問題が多発している。天井に埋め込んだ業務用エアコンの結露も一因。ダイキン工業は4月、結露を抑える機能をもつ業務用エアコンを初めて発売する。三菱電機も換気機器の新たな使い方を提案するなど、空調メーカーが対策に乗り出した。

« 注目商品 »

■トクラス、「Bb+(ビービープラス)」普及価格帯キッチンをモデルチェンジ

・リフォーム向けの普及価格帯キッチンをモデルチェンジ。袖壁付き造作対面キッチン、アイランド型、L字型などさまざまなレイアウトに対応。「カウンター間口調整」や、梁や柱に合わせてカットできるレンジフードの「幕板仕様」を追加するなど建築対応力を強化。



■既存床暖房が使って滑りにくい、天然木上貼り床材

・朝日ウッドテックは滑りにくさを備えた天然木の上貼りフローリング「LiveNaturalスマートレイヤー」を発売。天然木突板を採用し薄過ぎず下地不陸があらわれにくい3.9mm厚。既存床を剥がさずに直接施工が可能で、既存の床暖房がそのまま使えるのは業界初。



■アイリスオーヤマ、水洗いできる「気化式加湿器 enemist」

・当社の加湿器として初めて、工具を使わずに本体からファンやファンカバーを取り外し、水洗いできる「気化式加湿器 enemist(エネミスト)」を発売。ヒーターを使用しない気化式採用で吹き出し口が熱くならず、小さな子供がいる家庭でも安全に使用できる。

